

(別紙)

令和5年度(令和4年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 愛知県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジンアケチカイ
法人名	社会福祉法人 明知会
フリガナ	ショウカイフクシホウジンアケチカイ
事業所名	障害者支援施設 夢の家
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」÷「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
49.5 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☐ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☒ 入浴支援
☐ 移動支援 ☐ 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) シャワー入浴装置 PAO 1式

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E (A × C × D)	1人あたり 業務時間 (C × D ÷ A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B × 12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護	5 人	310 件	3,720 件	15 分	4,650 人時間	186 時間
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			310 件	3,720 件	15 分	4,650 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

機器導入前に通常の入浴方法にて入浴した実数

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

機器導入前の通常の入浴方法にて入浴した時間をご利用者人数で除した時間

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E (A × C × D)	1人あたり 業務時間 (C × D ÷ A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B × 12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護	5 人	318 件	3,816 件	13 分	4,134 人時間	165 時間
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			318 件	3,816 件	13 分	4,134 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

機器導入後にシャワー入浴装置にて入浴した実数

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

機器導入後のシャワー入浴装置にて入浴した時間をご利用者人数で除した時間

年間業務時間数想定削減率(%)

11.1%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

入浴時間、途中の動線の時間短縮を図ることが出来た。介助に余裕ができたことで慌てることなく事故防止、丁寧な介護につながった。ご利用者と介助中にコミュニケーションをはかる時間が増えた為ご利用者がリラックスして入浴できるようになってきた。また職員の抱える負担を軽減することができ腰痛予防、離職防止、資質向上につながった。

(5)今後の課題

ドーム形状になっているので閉塞感がある。ご利用者が閉塞感を感じないように、介助の際の声掛け、介助手順のご利用者との確認方法の工夫、ゆったりとした雰囲気づくりをするための職員の研修、研鑽を行っていく。

(6)気づき等について

ロボット導入により、時間が短縮できた分をどのようにしてご利用者に還元できるかを考えてサービスの質の向上、職員の質の向上をしていくことの大切さを再認識する気づきがありました。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の質上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。